

 座間市情報提供（事業、制度など）		情報提供日
		令和8年2月16日
タイトル	土器 ^{トキ} っと愛して！～土から生まれた、ごまの宝物！ 表裏型顔面把手（愛称「ザマロン」）のキャラクターデザインが完成	
内容（概要、目的、導入の背景 など）	○作成目的 約5,000年前の先人が残した「ザマロン」を、土から生まれた本市の宝として知ってもらうため、土器の硬さを緩め市民に愛されるような温かみあるキャラクターを作成し、本市の歴史や文化の普及啓発及び郷土愛醸成等に広く活用することを目的とした。 ○作成方針 ①文化財の理念と同様に永久性を以て、その周知に資することができるデザインであること。 ②市民に愛され受け入れられる普遍性が高いデザインであること。 ③盗用等に当たるリスク等のあらゆる懸念を排除できる、オリジナル性の高いデザインであること。 ④「ざまりん」との併存が可能であるデザインであること。	
セールスポイント、前回との違いなど	キャラクターデザインについては、デザイン公募は行わずに、学術的な観点を意識した上で、表裏型顔面把手の原型を踏襲しつつ、目の特徴を生かし優しく温かみのある雰囲気を持たせた。また、両手を付けたことで、包み込むような優しさや子を抱きかかえるような土器の形状を表現した。 ロゴデザインについては、地面から発掘された土器をイメージし、文字の隙間にザマロンをイメージしたワンポイントを加えた。	
スケジュール	現在、ザマロンのキャラクターデザイン及びロゴマークについて、商標登録出願中であり、令和8年3月までに許可が下りる予定。 4月以降は、学校や生涯学習事業などで、本市の歴史や文化の普及啓発及び郷土愛醸成等を目的とした活用を図る予定。また、商品化などで地元企業にも積極的に参画していただき、本市の魅力発信の新たなコンテンツとして活用していきたい。	
その他（予算、他市の状況）	○顔面把手土器をモチーフにしたキャラクターは「県内初」。 ※寒川町で釣手土器キャラクター化（つりてくん）したもの、横浜市都筑区で出土した筒形土偶をキャラクター化（はらでぐちくん）したものはあるが、顔面把手ではない。 ※全国では複数の顔面把手が出土しキャラクター化されている。 ①山梨県韮崎市：顔面把手さん ②東京都国立市：トッテー ③千葉県船橋市：「エビゾーくん」と「とってちゃん」	
問い合わせ先	教育部 生涯学習課 文化財担当 TEL046（252）8431	

○原型

オモテ側



ウラ側



○キャラクターデザイン（商標登録出願中）



ザマロン